

# ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2016年3月

## ISO/TC61(プラスチック) 第64回年次国際会議開催

### 1. はじめに

第64回 ISO/TC61 国際会議は、2015年10月5日～9日の5日間、インド・ニューデリーの India Habitat Centre において開催された。

この会議には P-メンバー31ヶ国、O-メンバー38ヶ国の内、18ヶ国から約200名が参加し、日本からは、宮入裕夫団長（東京医科歯科大学名誉教授）をはじめとして55名が参加した。日本からの参加者数は昨年より若干減少したが、いくつかの日本提案規格の開発が終わり発行されたためである。



写真1 India Habitat Centre

### 2. TC61の構成・活動状況

ISO/TC61には、表1に示すように10のSCで構成されている。現在登録されているWGは53で各SCの元で活動している。

表1 TC61の構成 (TC61: 幹事国 CN, 議長 DE)

SC	幹事国	議長	タイトル	活動中WG数
SC 1	GB	US	用語	2
SC 2	CN	KP	機械的性質	7
SC 4	GB	GB	燃焼挙動	5
SC 5	DE	CH	物理・化学的性質	7
SC 6	DE	DE	耐老化, 薬品, 環境性	3
SC 9	KP	KP	熱可塑性プラスチック	14
SC10	CA	CA	発泡プラスチック	5
SC11	JP	JP	製品	5
SC12	JP	JP	熱硬化性材料	3
SC13	JP	JP	複合材料及び強化繊維	2

US:アメリカ, CN:中国, GB:英国, DE:ドイツ, JP:日本, CA:カナダ, KP:韓国, CH:スイス

TC61の幹事国は中国、議長国はドイツであり、議長は Dr. Hubert Simon が務めており、管理規格数は 672 あり、現在 128 件の規格が開発中である。

日本は、10 ある SC のうち 3 つの SC の国際幹事国を務め、国際議長および国際幹事を受け持ち、また、コンベナー10 名が各 WG で活躍している。議長は次の通りである。

- ・ ISO/TC61/SC11 および SC12

三甲株式会社 末松征比古氏

- ・ ISO/TC61/SC13

名古屋大学 石川隆司氏

この内、SC12 は、来年より三井化学株式会社 山崎聡氏に交代予定である。

### 3. 会議概要

会議は 10 月 5 日（月）から開催され、10 の SC の内、SC4 を除く 9 の SC 及びそれらに所属する 38 の WG で会議を開催した。WG 会議では、各開発中の規格を中心にその課題を議論し、WG を統括する各 SC の Plenary 会議において WG 決定事項の承認を得た。

初日及び最終日には、TC61 Plenary 会議が開催され、そこでは各 SC 決議の承認が行われた。

さらに、バイオプラスチック、バイオデクラビリティ、ライフサイクル、マイクロプラスチック、カーボン・フットプリント、アンアエロビック・ダイジェスション、コンポジットなどの新しい項目についての新規 SC 立ち上げを検討する Ad-Hoc グループを設置することとなった。

また、SC2 の幹事国であるスペインが幹事国を辞退したため、今回より、中国が幹事国、韓国が議長国を務めることとなった。

今後の開催地については、次回 2016 年はドイツ・ベルリンで 9 月 19 日から 23 日の 5 日間の予定、以降は、2017 年は韓国、2018 年は日本と発表された。

### 4. 今後の取組

本年より順次、日本からの国際議長が交代するため、交代の円滑化を図る必要がある。

また、2018 年の日本開催に向け、早期の会場決定など万全を期す必要がある。

以上